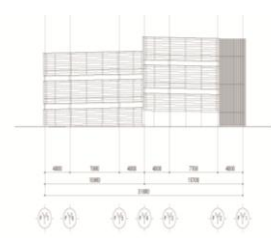


# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)JR桂川駅前プロジェクト(A敷地)	階数	地上2F
建設地	京都府京都市南区久世高田町373	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2013年11月7日
敷地面積	11,877 m <sup>2</sup>	作成者	上野
建築面積	2,216 m <sup>2</sup>	確認日	2013年11月7日
延床面積	4,395 m <sup>2</sup>	確認者	中條



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
開口部を大きく確保することで自然エネルギーを活用し機械設備を避けた計画とした。仕上げはメンテナンスの必要が少ないメッキ等の仕上げを採用し維持管理に係る環境負荷が少ない計画とした。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価しにくい環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 特になし	<b>Q2 サービス性能</b> 仕上材は維持管理が容易な材料を採用している。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内の空地には極力植栽を配置した。	<b>LR1 エネルギー</b> 外壁開口部を開放とすることで、自然換気、自然排煙、自然採光を積極的に利用した。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 構造部材と仕上材が容易に分離できる構造としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 道路沿いには極力植栽を配置し、景観に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される